

# 安全データシート

整理番号 【191-10】

制定日 2001/08/28

改訂日 2020/10/19

## 1. 製品および会社情報

### 製品

製品名 アセザイム

### 供給者情報

会社 サラヤ株式会社

住所 大阪府大阪市東住吉区湯里 2-2-8

担当部門 営業本部

電話番号 06-6797-2525

緊急時連絡番号 06-6705-1013

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類:

健康に対する有害性

皮膚腐食性・刺激性 : 区分1

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分1

発がん性 : 区分1

### GHSのラベル要素

絵表示又はシンボル: 腐食性

注意喚起語: 危険

危険有害性情報: 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷、発がんのおそれ

注意書き:

#### 【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じんまたはミストを吸入しないこと。

取扱い後は手をよく洗うこと。

保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用すること。

#### 【応急対策】

飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。

皮膚を水で洗うこと。

汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
直ちに医師に連絡すること。

特別な措置が必要である（4. 応急措置を参照すること）。

眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。

次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診察・手当を受けること。

**【保管】**

施錠して保管すること。

**【廃棄】**

内容物、容器を自治体のルールに従い廃棄すること。

---

### 3. 組成および成分情報

**単一製品・混合物の区別：**混合物

**成分：**（括弧内はラベル表示内容）

界面活性剤（界面活性剤（ソルビット））、アルカリ剤（アルカリ剤（炭酸塩、ケイ酸塩））、  
酸素系漂白剤（漂白剤）、蛋白分解酵素（酵素）

**化学名または一般名：**

メタけい酸ナトリウム（CAS NO, 6834-92-0） 10%未満含有

二酸化ケイ素（CAS NO, 7631-86-9） 0.5%未満含有

---

### 4. 応急処置

**皮膚についた場合：**

直ちに流水で十分に洗い流す。

**眼に入った場合：**

直ちに流水で15分以上洗い流す。

**飲み込んだ場合：**

直ちに多量の水を飲ませる。無理に吐かせないで、速やかに医師に相談する。

---

### 5. 火災時の措置

**消火剤：**

泡・粉末・炭酸ガス。

水を用いる場合には、注水が不十分であると、分解が促進され熱を発生し火勢を強める恐れがあるため、十分な注水を行う。

**消火方法：**

この製品自身は可燃性ではないが、火災時の熱により加熱されると

分解して酸素ガスを発生し、火災を助長することがある。  
移動可能な製品は、速やかに火災場所から離れた安全な場所に移す。  
消火作業は保護具を着用し、風上から行う。

---

## 6. 漏出時の措置

こぼれたものを元の容器に戻したり、くず入れに捨ててはならない。  
大量の水で希釈し、廃棄する。  
作業にはゴム手袋、保護メガネ、マスクを着用する。

---

## 7. 取り扱いおよび保管上の注意

### 取り扱い：

- ①必ず、ゴム手袋、保護メガネ、マスクを着用する。
- ②開封するとき、粉が飛び出す恐れがある。  
本品を移動するときは口部をしっかり締め、水分、鉄、ゴミが混入しないように保管する。
- ③他の洗浄剤や殺菌剤とは混ぜない。
- ④用途以外に使用しない。
- ⑤使用後は水で十分にすすぐ。

### 保管

#### 適切な保管条件：

- ①幼児の手の届かないところに保管する。
  - ②高温、多湿、直射日光は避ける。
- 

## 8. 暴露防止措置および保護措置

設備対策：情報なし

管理濃度：設定されていない。

許容濃度：設定されていない。

保護具：ゴム手袋、保護メガネ、マスクを着用する。

---

## 9. 物理的および化学的性質

外観：白色～微黄色顆粒

臭い：無臭からわずかに原料臭

pH：11未満（0.5%）

比重：（嵩比重）1.1

---

## 10. 安定性および反応性

### 安定性：

単独では、通常の取り扱い条件で安定であるが、熱や分解を促進する物質との接触によって分解する。

吸湿や水ぬれによっても分解が誘発、促進される。

分解時は酸素ガス、水（または水蒸気）および熱を発生する。

### 危険有害性反応可能性：

熱がこもると分解が加速され、密閉容器では破裂することがある。

弱い酸化性を有する。

### 混蝕危険物質：

重金属およびその塩類，還元性物質，酸性物質，酸化されやすい有機物，紙・布・木材等の可燃物，潮解性物質

---

## 11. 有害情報

急性毒性：分類できない

皮膚腐食性/刺激性：区分1（重篤な皮膚の葉傷・眼の損傷）

眼に対する重篤な損傷/刺激性：区分1（重篤な眼の損傷）

呼吸器感作性/皮膚感作性：分類できない

変異原性：分類できない

発がん性：区分1（発がんのおそれ）

生殖毒性：分類できない

特定標的臓器/全身毒性－単回暴露：分類できない

特定標的臓器/全身毒性－反復暴露：分類できない

吸引性呼吸器有害性：分類できない

催奇形性：分類できない

代謝：分類できない

---

## 12. 環境影響情報

生態毒性：情報なし

残留性・分解性：情報なし

生体蓄積性：情報なし

土壌中の移動性：情報なし

ノニルフェノール系非イオン界面活性剤を含め、環境庁が内分泌攪乱物質（いわゆる環境ホルモン）と位置付けした 指定物質は一切配合していない。

---

### 13. 廃棄上の注意

「7. 取り扱いおよび保管上の注意」の項を参照のこと

**残余廃棄物：**

大量の水で希釈し、廃棄する。あるいは、廃棄物業者に処理を依頼する。

**使用済容器：**

管轄自治体のルールに従い、処理する。

---

### 14. 輸送上の注意

「7. 取り扱い及び保管上の注意」の項を参照のこと

**国際規制**

**国連分類：**腐食性物質（クラス8、容器等級Ⅲ）

**国連番号：**1759

引火性液体に該当しない。

運搬する場合には、飛散、漏洩、流出、又は浸出を防ぐのに必要な措置を講じなければならない。

直射日光等による加熱を避ける。

可燃性物質との混載は避けるのが好ましい。

---

### 15. 適応法令

**労働安全衛生法（安衛法）：**通知対象物質 二酸化ケイ素 0.3%以下含有  
**化学物質管理促進法（P R T R法）：**該当しない。

---

### 16. その他の情報

**参考文献**

G H S 混合物判定ツール（経済産業省）

職場の安全サイト シリカのSDS（2016.3.31改訂版）

職場の安全サイト メタけい酸ナトリウム(2009.3.30改訂版)

- ・この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
- ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
- ・注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですが、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。

- すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。
-